

中学校区におけるめざす子ども像 「自分で目標を作れる子、豊かな人間関係を作れる子の育成」

堺市立美木多中学校 校長 林部 敏雄

令和8年度重点目標 ①学びのコンパスの考え方に基づく授業改善の推進 ②生徒の規範意識の高揚 ③特別支援教育の充実 ④安全管理・危機管理体制の確立 ⑤持続可能な教育環境の保持

<p>確かな学びの現状 安心して学習に取り組める静謐な環境の保持に努めている。「学校に行くのが楽しい。」「自分から進んで学ぼうという気持ちがある。」という校内アンケートの設問に約8割の生徒が肯定的な回答をしている。「日々の授業が大切」という合言葉のもと、「学びのコンパス」にもとづいた教職員の指導改善および生徒の学習改善に取り組んでいる。基礎・基本的な知識および技能の定着、探求的な学習の実施等、今後、生徒用パソコンを最大限に生かした生徒自ら学びを進められるような授業の充実を図る。</p>	<p>生徒が 豊かな心・健やかな体の現状 校内の牧場では、羊の飼育活動が行われている。また、広大な農園では、学級生徒全員で作物の植え付けから収穫までを行っている。これらの日々の勤労生産の体験的な活動を通じて、働くことの意味、責任感、仲間と協力する大切さについて学ぶ機会がある。笑顔で元氣なあいさつができる生徒が多く、学校行事や学級活動だけでなく、部活動にも責任感と他者を思いやる心を持って取り組んでいる。今後も、教育活動全体を通じて、人権感覚をさらに豊かにするとともに自己肯定感や自尊感情を醸成する取組みの充実を図り、夢や目標に向かって自身で判断し考え、行動できる力を育成する。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 問項目【肯定的な回答の割合】	評価方法	評価時期	進捗確認 (~12月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	授業改善	・学びのコンパスの考え方にに基づき、自立した学習者の育成に向けて授業改善を推進し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。	・生徒の学びを深めることができるような授業改善のための研修(研究授業、スキルアップ研修)等を実施する。	授業を工夫して、わかりやすく教えてくれる先生が多い。【85%】	学校アンケート(生徒)	3学期			
			・指導方法の工夫・改善に取組み、生徒用パソコンが活用された分かりやすい授業を行う。	学校はICTの活用を積極的に行っている。【80%】	学校アンケート(保護者)	3学期			
	総合的な学力の育成	・各種調査結果等をの分析に基づき、チーム学校として検証改善のサイクルを確立し、生徒一人の学力の変容に焦点を当てた組織的な授業改善を進める。	・単元末のめざす子ども像が可視化され、自身の考えや意見を発表したり共有したりする機会を設定する。	授業の中で生徒同士で話し合ったり自分の考えを発表したりする場面がある。【90%】	学校アンケート(生徒)	3学期			
			・探求的な学びを展開し、実社会で生かせる学力を育成する。 ●朝の短時間を活用した授業を行い、主体的に学習に取り組む姿勢を育む。	自分から進んで学ぼうという気持ちがある。【85%】	学校アンケート(生徒)	3学期			
豊かな心・健やかな体	豊かな心の育成・仲間づくり	・授業、行事、部活動などあらゆる場面で、自己肯定感や自尊感情を高められるような集団づくりを推進し、生徒のウェルビーイングを高める。 ・道徳および人権に関する授業や体験活動の充実を図り、思いやりの心を育成するとともに、自己の生き方を深める力を養う。	・実施内容に生徒の意見を反映させるとともに、その内容の見つめなおしに継続的に取組み、教育的意義を明確にした行事を実施する。	・体育大会や文化活動発表会等の行事で、自分の役割をしっかりと果たしている。【90%】	学校アンケート(生徒)	3学期			
			●笑顔でのあいさつを励行し社会性を身に付けさせる。	・体育大会や文化活動発表会は、子どもの教育に役立っていると思う。【90%】	学校アンケート(保護者)	3学期			
			●キャリア教育の充実を図り、生徒が自身の将来に展望をもち、今後の進路を自らの力で切り拓いていけるよう支援する。	・学校であいさつをきちんとしている。【90%】	学校アンケート(生徒)	3学期			
			●いじめの未然防止、早期発見・早期解決に向けて組織的対応ができるよう教職員研修を行い、いじめ防止の授業や教育相談を実施する。	・自分なりに将来の夢や目標を持っている。【80%】	学校アンケート(生徒)	3学期			
				・いじめや暴力があれば、先生に知らせるなど、見て見ぬふりをしないようにしている。【90%】	学校アンケート(生徒)	3学期			
				・学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。【90%】	学校アンケート(保護者)	3学期			
地域協働	信頼される学校	・学校教育目標や教育方針を家庭・地域とも共有し、教育活動を連携して推進していく体制の構築を図る。 ・中学校区を学校群として捉え、教育課程の接続や情報共有を行い、義務教育9年間を見通したつながる教育を推進する。	・学校HPで子どもや学校の情報を公開する。 ・保護者連絡アプリを積極的に活用し情報を発信する。 ・PTA実行委員会、学校協議会や地域の会合等で働き方改革を議題にし、共通理解を深める機会をもつ。	・学校は、HPや学校・学年だよりなども活用して、教育内容や方針を分かりやすく伝えようとしている。【90%】	学校アンケート(保護者)	3学期			
			★中学校区合同研修を実施する。 ★校区小学生を中学校に招いての部活動体験、支援学級交流会、農業体験(収穫祭)等の行事を行う。 ★小中の各校務担当者間の連絡を密にする。	・学校は、義務教育9年間を見通して、小中部活動体験など、小学校との取組みを積極的に行っている。【90%】	学校アンケート(保護者)	3学期			

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)